

1. 「生産者と向き合う総合水試」情報収集発信事業

一丸俊雄・水田浩二

コンピュータシステムを活用して、水温情報、漁獲情報、魚病情報等、水産研究にとって有用な各種情報を収集するとともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。

また、専門的な研究情報の提供と漁業現場等のニーズの把握を目的に、移動総合水産試験場（出前水試）を開催した。

I. 試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県下各地の魚病発生情報を収集し、データベースに222件を新たに登録した。

魚病データベース登録件数：累計5,407件

2. 海況データベース

県下各海域の海況情報を収集し、データベースに49,708件を新たに登録した。

海況データベース登録件数：累計434,696件

II. 試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

開設しているホームページ上で、以下の情報を提供した。主な内容は以下の通り。

- 総合水産試験場の施設の紹介
- 漁海況情報
- 水温情報
- 最新の試験研究話題
- マリンラボニュース
- トピックス 等

2. FAX情報サービス

FAXによる情報サービスを行い、以下の情報の発信を行った。

- 漁海況情報
- 赤潮情報

情報発信件数：計7,132件

3. 情報誌の発行

「令和元年度の主な成果」を発行（令和2年3月）し、漁協等関係機関へ配付した。

III. 移動総合水産試験場の開催

漁業者等への研究成果の提供と、試験研究への現場ニーズの反映を目的に移動総合水産試験場(出前水試)を開催している。令和元年度は、より専門的に細かく現場のニーズを把握するため、地区や部会等の要望に応じて開催することとして、次のとおり県内8地区で8回開催した。

○松浦市福島町

令和元年6月11日、出席者：26名

○対馬市上対馬町

令和元年7月31日、出席者：15名

○大村市

令和元年9月10日、出席者：14名

○新上五島町有川

令和元年10月15日、出席者：22名

○壱岐市郷ノ浦町

令和元年10月18日、出席者：29名

○長崎市戸石町

令和元年11月7日、出席者：30名

○長崎市元船町

令和2年1月15日、出席者：40名

○五島市福江町

令和2年1月23日、出席者：15名

各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。参加者合計は191名。

IV. その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

令和元年10月20日に、新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、同地区に設置されている



「出前水試」の様子
(令和元年9月10日 大村市にて)

国立研究開発法人 水産研究・教育機構西海区水産研究所，国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターと共催で「第17回ながさき水産科学フェア」を開催した。

三機関では，研究機関の地域貢献を目的に，施設の一般公開や各種体験型イベントを実施するとともに，サイエンスカフェを開催した。当日の参加者

は約1,000名で，三機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めて頂いた。



第17回水産科学フェア「耳石採り体験」の様子

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を，漁業者をはじめ県民に広く伝達し，その普及を図ることを目的に，記者室投げ込み，取材対応等の広報活動を行った。

令和元年度広報活動件数は24件。

(担当：一丸・水田)